



有田市こども計画 ～こども版～



みんなに知ってほしい！

有田市がこどもたちのためにどんなことをしていくか、やさしい言葉でまとめたよ。

こども計画ってなに？

こども計画がめざすこと



妊娠期から大人になるまで、
みんなが安心して元気に育てるまちへ。
そのために有田市が取り組む約束が、
「有田市こども計画」です。

みんなの声、ちゃんと聞いたよ！ この計画をつくるにあたって、有田市はアンケートを実施しました。

 若者・中学生



中学生：508件
若者：264件
令和7年5～6月実施


もっと遊べる
場所がほしい


自分の意見を言える
場所があるといいな

そんなみんなの思いが、この計画に入っています。

悩みを
聞いてほしい

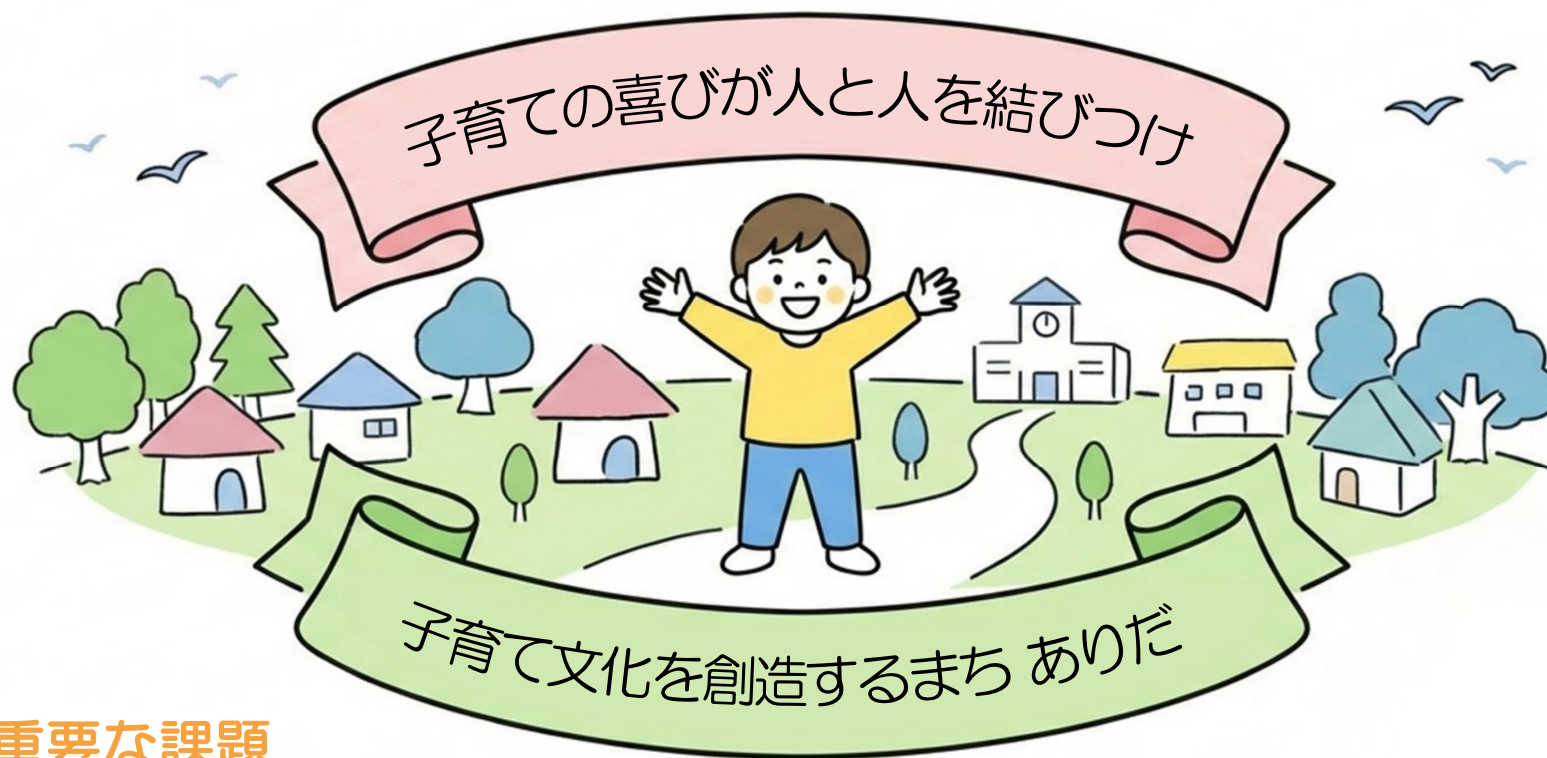
お金の心配なく
こどもを育てたい

 未就学児童保護者
小学生保護者



未就学児童：465件
小学生：775件
令和6年1月実施

めざすまちの姿（基本理念）



有田市の重要な課題

① 切れ目ない成長支援

生まれる前から青年期まで、
ずっとサポート！

② 地域共創・未来づくり

地域みんなで一緒にこどもを育てる！

③ 多様なニーズへの対応

どんなこどもも取り残さない！

こどもの権利について

「こどもの権利」とは、すべてのこどもが持つ大切な権利（当たり前にある権利）のことです。



生きる権利

食事をとり、安全な場所で生活できること。
病気になったら病院で診てもらえること。



育つ権利

自分らしく成長できること。
学校に行けること。
スポーツや遊びを楽しむこと。



守られる権利

いじめや暴力から守られること。
つらい思いをしたとき助けてもらえること。



参加する権利

自分のことについて意見を言えること。
まちのルールづくりに声を届けられること。

アンケートでは、中学生の約68%が「こどもの権利」を知っていると回答。有田市は、みんなが意見を言える機会をもっと増やすことを決めました！

市のすること① ～切れ目なく成長をサポート～

基本目標1：こどもの育ちを支える切れ目のない支援

なぜこれに取り組むの？（現状・こどもの声）



子育てに不安を感じているお父さん・お母さんは約41%もいるんだ。

将来に希望が持てないと感じている中学生が約3割いるよ。



市のすること（主な取組）



赤ちゃんが生まれる前から、専門家が相談にのるよ。産後も赤ちゃんとお母さん、家庭を助ける仕組みも作るよ。

給食費の無償化や、お医者さんにかかるお金を助けたりして、お家のお金の心配を減らすよ。



市のすること② ～希望を持って暮らせるまちに～

基本目標2：希望を持って暮らせる環境づくり

なぜこれに取り組むの？（現状・こどもの声）



中学生の約4割が、将来の「お金のこと」が不安だと答えているよ。

20代の若者が、市外へ引っ越してしまうことが多いんだ。



市のすること（主な取組）



有田市に住み続ける若者には、奨学金を返すのを助ける制度を用意するよ。
お金の心配なく勉強してね。

有田市の魅力をさらに磨いて、みんなが「住み続けたい」と思えるまちにするよ。



市のすること③ ～地域みんなでこどもを育てる～

基本目標3：地域全体でこども・子育てを支える体制づくり

なぜこれに取り組むの？（現状・こどもの声）

「地域が好き」なこどもはまだ約4割。もっと増やしたいな。



中学生の約8割が「地域のお祭りやイベントに参加したい!」と思っているよ。

市のすること（主な取組）



BIG SMILE PARKでのイベントやスポーツ大会など、みんなが楽しめるイベントをたくさん増やすよ。

地域の人が学校運営に参加する仕組み「コミュニティ・スクール」を全部の学校で取り組んで、みんなで学校を盛り上げるよ。



市のすること④ ～すべてのこどもを支える～

基本目標4：配慮が必要なこども・家庭への包括的支援

なぜこれに取り組むの？（現状・こどもの声）



家族のお世話を頑張る「ヤングケアラー」という言葉を知らない中学生が8割以上もいるよ。

中学生の約5%が「学校に行きたくない」と感じているよ。



市のすること（主な取組）



ヤングケアラーのお家へお手伝いに行ったり、「こども食堂」でみんながあたたかいご飯を食べられるように応援するよ。

学校で相談できる先生（カウンセラー）を増やしたり、障がいの有無に関わらず、みんなが一緒に楽しく遊べる環境を作るよ。



市のすること⑤ ～権利と安全を守る～

基本目標5：こどもの権利と安全を守る環境づくり

なぜこれに取り組むの？（現状・こどもの声）



「自分の意見を言える場所がある」と感じている若者は、たった1割しかないんだ。

いじめやネットのトラブル、犯罪から守ってほしいという声があるよ。



市のすること（主な取組）



「こども会議」やインターネットで意見を募集して、みんなの声をまちづくりに生かすよ。

いじめは絶対に許さないよ！インターネットの正しい使い方の授業をしたり、みんなの心の悩みを聞く窓口を整えるよ。



困ったときの おたすけ連絡先マップ

心がもやもやしたり、困ったことがあったら、
一人で抱え込まないで！
今の気持ちに合わせて、ここを使ってみてね。

子育て・こどもに関する総合相談窓口
有田市 こども課
0737-22-3524



児童相談所虐待対応ダイヤル

189
24時間受付・無料



家庭児童青少年相談室

0737-82-3711
月曜日から金曜日（土日祝除く）
8時30分から17時15分



子どもの人権110番

0120-007-110
平日・無料



こころの健康相談窓口一覧



これからも みんなの声を届けてね

市の計画はこれで終わりじゃないよ。

「もっとこうしてほしいな」

「こんなことで困っているよ」

という意見を、いつでも伝えてね。



オンラインで意見を伝える

お問い合わせ専用フォーム

Logoフォーム

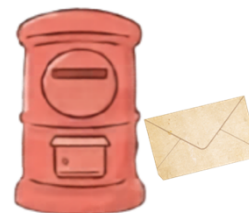
<https://logoform.jp/form/GigN/451314>



メールで意見を伝える

有田市 子育て課

kodomo@city.arida.lg.jp



手紙で意見を伝える

[宛先]

〒649-0392

有田市箕島50番地

有田市役所 子育て課 宛